

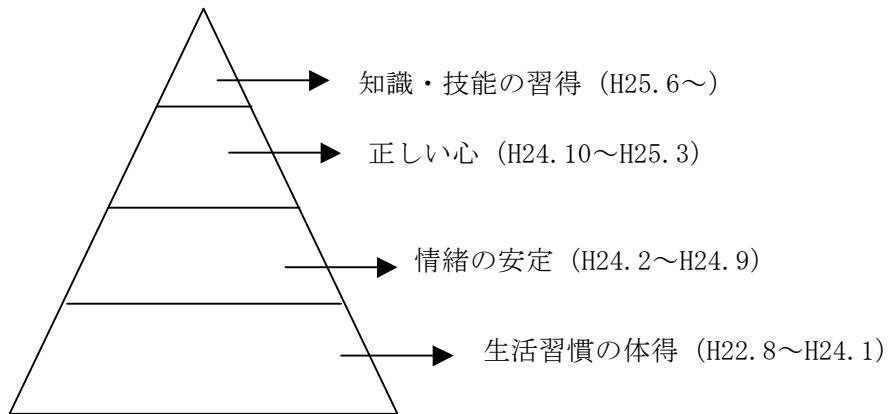
## 4月のことば

ご入園ご進級おめでとうございます。「人づくりの考え方」 ～その1

桜咲いて、付近は住宅の新築工事 盛況。桜は良い土と根があってこそ美しい花が咲きます。又、建物も、基礎がしっかりできてこそ、良い家を建てる事ができます。

人づくりも同様、まず「生活習慣」を健全にするという土台が必要で、その上に「情緒の安定（落ち着き）」「正しい心の認識」が順に乗り、その上に「知識・技能の習得」という頂上部分を造ることができます。

そこで私は従前より人づくりをピラミッドに例え、下図の如くイメージして毎月、土台から順に本稿にてお話ししている次第です。



「0才からあさか保育園に入ると賢い子（人）になる。」といえる施設を目指し、皆様とともに鋭意努力いたしたく思います。

今月は最後にこの目標である“賢い子（人）”という意味を様々な方向より整理して筆を置きたく思います。

賢い子（人）・・・・・・ 与えられた環境で、自分の長所を見つけ、それを磨くことで他人に幸を与え、自らの喜びに出来る人。

賢くない子（人）・・・・ 何の為に生きているのか分からず指導者がいないと何もできない人。自習ができない。悪い指導者でも盲目的に従う人。

賢い子（人）・・・・・・ 数値や知識を知恵に変えて、人間力豊かな行動に移せる人。

賢くない子（人）・・・・ 知識・技術・学歴・資格を、自己の虚栄心を満足させる為に資し、他人に不快感を与え、社会的な責任を果たさない人。

賢い子（人）・・・・・・ 勉強ができる人。

賢くない子（人）・・・・ 勉強ができない人。